

今、あらためて命の尊さを



この数年で私が最も衝撃を受けたのは、神奈川県で社会福祉施設で元職員が入所者を殺傷した事件でした。19人もの入所者の方々が命を奪われ、26人の入所者、職員が重軽傷を負った、戦後最悪の事件です。私は容疑者の「安楽死させるべきだ」という主張を聞いたとき、自分の足もとが急に沈み込んでいくような、絶望的な感覚に襲われました。

「どんな人であっても、その命は尊ばなければならない」という、私たちにとってはごく当たり前だと思っていた「常識」が、全く通用しない人が現れているということに愕然としました。しかも、この容疑者だけが突然変異的な、社会で特異な存在なのではなく、SNS上では容疑者の行動に対して、賛同したり、賛辞が多く寄せられ、背筋の凍る思いを持ちました。

私は、この事件に言い知れぬ恐怖と不安を覚えると同時に、「だからこそ」私たちは「キリスト教保育」をより主体的に、また実質的に

進めていかなければならない、と固い決意を持ちました。「キリスト教保育はどのようにして生まれたのですか?」「キリスト教保育と一般保育とどう違うのですか?」という質問を、保育者の研修会の時によく尋ねられます。

しかし、そもそも現在行われている「保育理論」を構築したのは、キリスト教が母体なのです。つまり、「保育」というのは「キリスト教保育」から始まったのです。それまでは一人前の人格として扱われてこなかった「子ども」に焦点をあて、「子ども」は神さまから与えられた尊い命で、その人格を尊重し、共に育っていかなければならない、というところが、「保育」の原点です。

聖書には、「命は神さまから与えられた尊いものである」、「すべての命を、イエスさまは受け止め、大切に、寄りそい、愛してくださっている」と記されています。何よりも、十戒に「殺してはならない」と書かれています。今こ

そ、キリスト教保育を通して、私たちは人生の「土台」ともいうべき、根底の価値観を子どもたちと一緒に学んでいかなければならないのではないのでしょうか。

その意味では、キリスト教保育を担っている大阪YMCAは、人間としての基礎作りに大きな責任を持っておられます。保育者や保護者のお一人お一人の上に、神さまの祝福が与えられますように。私も一人の牧師として、できる限りのお手伝いをさせていただきたいと願っています。



日本キリスト教団
芦屋浜教会
牧師
つかもと じゅんいち
塚本 潤一

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

～私たちの大切な「こころもち」～



私たちは、子どもの主体性を大切に一人ひとりの「こころ」にそっと寄り添い、
どんなときでもやさしく、温かいまなざしで「育ち」を見守ります。
そして、子どもも大人も、大切に愛されながら、あせらず、ゆっくりと、
ともに「生きる力」を育みます。



子どもたちの成長を感じる瞬間

YMCALろがね幼稚園 スタッフ **中井 琴子**

幼稚園では、行事の中で子どもたちの成長をたくさん発見できます。年長児クラスでは、子どもたちと考える機会が多くなります。例えばページエントの役決めでは、子どもたちが話し合いをして決めます。子どもたちの中で、なりたい役への思いは様々です。自分の希望が他の友だちと重なった時は、何度も話し合います。じゃんけんをしたり、友だちや保護者の言葉に流されるのではなく、自分の「意志で決める」ということを大切にしています。話し合いでは、自分の意見を友だちに伝えられず、時には涙を流す子どももいます。保育者も一人ひとりに寄り添い、認め、尊重することを大切にしています。お互いが納得し、譲り認め合う経験をした後の練習では、子どもたちは与えられた役に誇りを持ち、楽しく取り組んでいます。なりたい役になれなかった子どもも決まった役を大切に、他の友だちのセリフも覚える姿も見られます。クラス全員で作り上げているという一体感を感じることができました。

行事を通して子どもたちの成長を感じ、そばで見守ることができることが、保育者をして良かったと思う瞬間です。それと同時に、保護者の方と共に子どもたちの成長を共有し、喜びを感じることが出来ます。これからも、子どもたち一人ひとりに寄り添い見守りながら、キリスト教保育を大切にしていきたいと思ひます。



こども園事業部におけるグローバル活動 ～つながりを大切に～

2019年度台北研修参加者 / YMCAL 松尾台幼稚園 スタッフ **今井 咲** YMCAL しろがね幼稚園 スタッフ **小山 陽子・山本 駿**

YMCALこども園では、年間を通して様々な人とのつながりの中でグローバル教育に取り組んでいます。2019年度は、特に台北YMCAとの交流からグローバル教育を展開しました。台北YMCAへの保育者研修では、保育施設の見学やカリキュラムについての情報交換などを行い、日本での取り組みの可能性についての学びを深めました。そして、何より保育者同士のつながりを深め、今後の連携を強めていくための良い機会となりました。研修後もネットワークを有効に活用し、互いの

園児同士がテレビ電話でリアルタイムに交流を行なっています。「こんにちは!」「好きな食べものは何ですか?」と子どもたちは緊張することもなく、元気に話をしていました。

YMCALでは、世界の人びととつながり、交流しながら、平和な社会を築いていくという願ひがあります。これらの活動を通じて、これからの未来を生きる子どもたちの心の中で、この願ひが大きく育まれていくことを信じてグローバル活動の取り組みを続けていきます。

目に見えないもの

YMCALしろがね保育園 スタッフ **田中 真奈美**

私はこれまでキリスト教保育を学び、子ども一人ひとりに寄り添う気持ちを大切にしてきました。しかし、私自身の気持ちに余裕がないときがあり、3度目の0歳児クラスの担任になった今年度は、それまでの反省を活かしてより丁寧に一人ひとりとかがわれるようにしたいと思ひました。

4月から入園したSちゃんは警戒心が強く、自ら保育者にうまく甘えられず、午睡中には激しく泣き出すこともあり、それらの姿が気になっていました。そんなSちゃんの心に寄り添い、安心感を与えられるようにかかわりたいと思ひ、様々な場面で話しかけ、アイコンタクトをとりながら心の距離を縮めていきました。すると、徐々に明るい素顔が見られ、自分から保育者に甘えられるようになり、安心して過ごせる環境になってきたと感じられました。

0歳児は、言葉だけではお互いの気持ちが通じ合わないこともあります。その分、目には見えない心や想いに気持ちを馳せながら歩み寄り、気持ちで通じ合うことがとても大切になります。言葉が未発達な乳児期には、特に一人ひとりと関係を築く上でこの「目には見えないけれども大切なもの」を中心に保育をしていきたいと思ひます。そして、子どもが自分のことを理解してもらえたことで気持ちが満たされ、認められることで安心して過ごせるよう、一つひとつの丁寧なかかわりを大事にできる保育者を目指していきたいと思ひます。

ユースリーダーの日の集い



ユーススポーツ事業 スタッフ **奥根 由惟佳**

2019年12月23日(月)、大阪YMCA会館にて、ユースリーダーの日の集いを開催しました。この集いは、生命の尊さを学び、安全を最優先に考えて行動することを学び合うことを目的としています。今年度は「つながり」をテーマとして、ユースボランティアリーダー(以下、リーダー)同士、スタッフ同士、リーダーとスタッフがともに寄り添い考え合



う時間としました。リーダー、スタッフがこれまでの活動を見直す大切な時間を過ごすことができました。

第1部の礼拝では日本聖公会明石聖マリア・マグダレン教会の原田佳城司祭から、生命についてのメッセージを受け、講演では杉本厚夫関西大学名誉教授を講師としてお招きし、「自律」についてリーダーと共に学びました。自分自身が自律した上で周りの人たちと繋がりが合することができるということを再認識しました。

第2部ではワークショップを実施し、リーダーとスタッフが「リレーションシップ」という1つのワードから共通する言葉を探し、人との関係性やつながりを持つにはどのようなことが大切で、必要なかを考えました。



ユースリーダーの日の集いを通して、リーダー、スタッフそれぞれにとって学びがあり、新しい一歩を歩めたことに感謝をして報告いたします。

Google for Educationを活用して学校生活を切り開く!



大阪市立水都国際中学校 スタッフ **原田 有**

本校で採用しているGoogle for Educationのサービスの一つであるG Suiteは生徒のICT活用に対する心理的ハードルを解決しています。

キーボード操作が初めての中学生でも簡単に操作ができるChromebookを活用し、効果的なアクティブラーニングを展開しています。例えば、理科ではグループでクイズに挑戦するQuizletで単元復習をしています。

ChromebookとG Suiteの利用は授業だけに留まりません。学校行事や放課後活動では、資料やアンケート作り、動画編集など目的に応じてツールを使い分け、生徒自身で学びの場を作り上げています。



G Suiteで新たな学校生活を切り開いた事例について、2019年9月27日、第4回教育総合展(EDIX関西)で4名の生徒がプレゼンテーションをしました。

私たちは、G Suiteを使った新しい学校生活を推進する活動を日々行なっています。生徒たちはこれからも「ワクワク」した学びに取り組んでいきます。

ICT小学校体育授業支援



ウェルネス事業部広域開発事業 グループ長補佐 **猪口 武志**

2019年度より、「行政(池田市)×企業(ソフトバンク)×大阪YMCA」の協働事業として、「ICT小学校体育授業支援」を行なっています。

本事業は、小学校での体育授業の質向上と、専門知識の少ない教員への負担軽減が目的です。YMCAのスタッフが子どもたちに適切なアドバイスをしない、多くの成功体験のもと、運動嫌いの子どもを少なくするという社会貢献活動として実施しています。

現在は、池田市内の小学校5校を対象校とし、月に1回の小学校体育授業現場でのリアルな指導と、通信機器を活用した遠隔指導を実施しています。遠隔指導では、先生から指導に関する質問に答えたり、動画を用いて動きの解説や指導のポイントを伝えたりしています。

実際にリアル指導を行なう中で、技術習得ができた子どもがいた、教

員から専門的な学びになった、と好評を得ています。また、私たちが実際の小学校体育授業に参画することにより、小学校体育の状況や子どもたちの成長や育みの面での課題の一端を確認することができました。

今後は、共創事業の中で、運動をする人とならない人に分かれるという運動の二極化への対応、スポーツの価値観についての課題への取り組みを目標として、行政・企業等と共に活動を進めてまいります。





郷土料理から食への興味を深める

YMCAあわぎ保育園 スタッフ やまもと かな 山本 佳奈

今年度、YMCAあわぎ保育園の2歳児の中で、お祭りごっこが人気です。その中で、たこ焼きは自分たちの住む地域でよく食べる物であることを知り、「おばあちゃんのお家では?」「他には何があるかな?」と話す姿がありました。この子どもの姿から、食への興味の深まりをねらいに様々な郷土料理を取り入れることにしました。

第一弾は愛媛の「いもたき」。写真を掲示すると「おいしー!」「これ食べたら体あたたかくなるの?」と興味を持ち、「食べたい」「やりた

い」に繋がりました。2歳児は椎茸切り、1歳児はうすあげとこんにやくをちぎるお手伝いをしました。お友だちが食べることも意識して、「お口入る?」「小さくするね」と優しく気遣う姿も見られました。

自分たちで作った料理は格別においしく、互いに感謝の気持ちを伝えたり、喜びを共感する姿が多くみられました。また、月々の郷土料理やお手伝いが子ども同士や家族での会話に繋がり、楽しみの一つとなっていきました。

日々子どもたちの姿から興味のあることを知り、様々な食材やメニューに触れることが食への興味を深めることに繋がり、食べる楽しさを実感したり感謝する気持ちを持つ経験の積み重ねとなっています。



ユースボランティアリーダー活動感謝会

この一年のユースボランティアリーダーたちの活動に対する感謝と、今年度でユースボランティアリーダー活動を終了し、社会へ歩み出してゆく青年たちへの励ましを会を開催します。

日時：2020年3月23日(月)18:30~20:30

場所：大阪YMCA会館 2階ホール

ご寄付に感謝申し上げます

2019年12月に開催されたワイズメンズクラブ中西部チャリティーゴルフ大会から、下記使途として寄付金をいただきました。ご支援に感謝し、ご報告させていただきます。

- 2020年度チャリティーラン(障がいのある子どもたちに) — 30,000円
- 台風19号・15号被災地支援募金 ————— 20,000円
- クリスマス献金 ————— 44,500円

計94,500円

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAのさまざまな場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

※今月は第2金曜日となります。

■第323回 日時...2020年3月13日(金) 7:30~8:30

証し... はしもと けん 橋本 健さん
(大阪YMCA国際専門学校高等課程
表現・コミュニケーション学科 主任)

場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2020年1月度報告・敬称略

【新規会員】	【継続会員】	掛谷 太郎 加志 勉 紺谷 隆 伊藤 正尚 岩井 錠治郎 岡本 麻裕 小川 明彦 奥野 孝昭	志田 育夫 清水 誠治郎 清水 汎 杉野 真優 田尻 忠邦 露峰 由佳子 永井 美聡 中村 甲斐	西村 耕 二宮 聡 浜崎 正三 真鍋 佑介 三本 香 向谷 章 吉見 優里 米澤 保男
--------	--------	---	---	--

問合せ... 大阪YMCA 統括本部 総務
TEL:06-6441-0894
E-mail:info@osakaymca.org

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

